

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について (オプトアウト)

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	摘出口蓋扁桃組織の免疫病理学的所見に関する研究
当院の研究責任者(所属)	所属：頭頸部外科・耳鼻咽喉科 職名：教授 氏名：松塚 崇
他の研究機関および各施設の研究責任者	所属：岐阜大学大学院医学系研究科 職名：教授 氏名：小川 武則
本研究の目的	<p>当院頭頸部外科・耳鼻咽喉科では、習慣性扁桃炎、扁桃病巣感染症(IgA 腎症等)、扁桃肥大等の非腫瘍性疾患に対する治療を目的に両側口蓋扁桃摘出術を施行しています。また、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染は中咽頭癌の発がん因子のひとつであり、近年 HPV 関連中咽頭癌の頻度は急増しており、癌は口蓋扁桃から発生する頻度が高いことが知られています。本研究では非腫瘍性疾患として摘出された口蓋扁桃の中で癌に変化する病態の有無を免疫病理学的に確認し、その頻度や特徴、患者背景について調査します。</p> <p>本研究の免疫病理検査では、HPV 感染のサロゲートマーカーとして使用されている p16、細胞増殖活性マーカーである Ki-67 を組織中で確認します。</p> <p>また、in situ hybridization (ISH)法という遺伝子学的検出法を用いて組織内の HPV の有無を確認します。</p>
調査データ該当期間	2020年6月より2024年10月まで
研究の方法(使用する資料等)	2020年以降に当院頭頸部外科・耳鼻咽喉科で扁桃摘出術を受けて患者さまの院内に保管している摘出扁桃標本を用いて、p16、Ki67 を用いた免疫染色を行います。同じく摘出扁桃標本を用いて、HPV ISH 法を用いた検査を行います。
試料/情報の他の機関への提供	ありません
個人情報の取扱い	診療データは匿名化し、匿名化したデータを切り離した上で調査票に記入し解析を行います。登録時の個人情報は記入後観察期間終了後に匿名化したデータと切り離し、個人情報に関する紙データは調査票記入後、研究者の責任のもと、シュレッダー処理後に廃棄します。記入済み調査票は研究期間中は本院の施錠された保管場所で第三者の責任により管理し、研究終了後には一定期間保管の後シュレッダー処理し廃棄します。
本研究の資金源(利益相反)	本学講座研究費
お問い合わせ先	岐阜県岐阜市橋本町2-23 朝日大学病院 頭頸部外科・耳鼻咽喉科
備考	